

JR東日本労働組合 SENDAI 情報

JR 東日本労働組合
仙台地方本部
発責：執行委員長
編集：情宣部・組織部

第7回仙台地方委員会 エルダー職場課題解決に向け議論

ユニオン仙台地本は4月24日、コロナ禍に於いて第7回仙台地方委員会を開催し、2021春闘の振り返りとエルダー職場の課題解決に向け議論を行った。

委員会議長に新庄地区班の渡部委員が指名され、当面する活動方針が満場一致で承認された。

参加者発言では、エルダー制度について、短日勤務制度があるにも関わらず選択が出来ない、本体エルダーを希望しても叶わない、同一労働同一賃金はどうなっているのか、有名大学を卒業しても一般企業の高卒以下の給料である。こういった課題を労働組合が解決できないと組織は増えない等、現状について述べられた。

地本に対しては、会社の違いで交渉ができないとする壁に何とか風穴を空けて欲しい、あらゆる手段で解決に向けた闘いを行ってほしいと述べられた。



【佐藤委員長挨拶】

春闘は、本部交渉団の論理的にもエネルギー溢れる交渉にも関わらず、ベア0、昇給2係数であった。組合員の結束・団結力が100%であったのかということが問われている。「2021春闘アンケート」は決して提出することが目的ではありません。結束力・団結力を示すことです。

組織の高齢化で運動が停滞していることは否めません。あとひと踏ん張り共に闘う力を仙台地本にください。仙台地本72%がエルダー組合員となり、制度、職場環境の改善が叫ばれています。地本としても新たな挑戦として取り組む所存です。この難局を乗り越える闘いとなるよう組合員の行動を要請します



7月5日(月) 12:00~

「第10回本部定期大会」 北とびあ(王子駅)